

### 札幌硬石／軟石

札幌軟石の採石の様子

明治時代に発見、採掘された藻岩地区の「硬石」と石山地区の「軟石」。礎石となった硬石や風格ある軟石の建物が、その文化を今に伝える。

Stone

### ラベンダー

初夏の風に運ばれる心安らぐ香りと可憐な紫色の姿。日本で初めて、香料の原料として栽培されたのはここ南沢地区。

ラベンダー

南沢のラベンダー摘みの様子(1964年)

東海大学札幌キャンパス

石山付近を走る定山溪鉄道(1969年)

現在の同地点(石山2条2丁目付近)

昭和30年代後半の石切山駅

旧石切山駅(石山振興会館)

現存する唯一の駅舎である石切山駅。現在は石山振興会館として地域の方などに親しまれています。

### 定山溪鉄道

市民の行楽の足であり、木材や鉱石を運び産業の発展も支えた“定鉄”。大正から昭和を逞しく走り抜けたその痕跡は、貴重な歴史遺産である。

定山溪鉄道C12形(1962年)

Rail road

### Road 石山通

4車線の幹線道路は、その名の通り石を運ぶための道だった。馬車道の後に、石材のみならず沿線住民たちも乗せた馬車鉄道が引かれた。

1912年の馬車鉄道

現在の石山通(南31条西10丁目付近)

Road

### 御料橋／新御料橋

橋の歴史は明治にさかのぼり、数多く架け替えられてきたとされる。荘厳な柱状節理や藻岩ダムの景観と共に、簾舞地区の象徴でもあった。

御料橋の改築竣工式(1924年)

新御料橋(白川1814-216地先)

Bridge

豊かな大自然の恩恵に支えられた観光や産業と共に発展してきた南区。そんな南区の歴史が、写真の中に息づいています。

### 定山溪温泉

時は江戸時代末期。今も人々の体と心を癒す湯の郷の始まりは、1866(慶応2)年、修行僧・美泉定山がこの地の泉源に導かれたことから。

1920年頃の定山溪

定鉄が走っていた頃の定山溪駅(1952年)

定山溪の春の風物詩、溪流鯉のぼりの様子

Onsen

### Ski Area 藻岩山スキー場

標高1,000m級をはじめとする山々が連なる南区。1960年にオープンした藻岩山スキー場は、今も昔もスキーを習う子どもたちでにぎわう。

スキー遠足の様子(1970年)

現在の藻岩山スキー場

Ski Area

### Park 藻南公園／十五島公園

豊かな自然に囲まれ、共に園内に川が流れる公園。学校行事の定番“炊事遠足”のメッカとしても親しまれてきた、思い出あふれる場所。

真駒内種畜場(1930年)

現在の同地点(真駒内東町2丁目付近)

十五島公園の炊事遠足(1965年)

現在の十五島公園

Park

### Shopping Street 澄川の商店街

明治後半、豆腐の製造と菓子店が営まれたことが始まりとされる商店街。にぎわいは変わらず受け継がれ、澄川の活気を生み出している。

澄川地区商店街(1977年)

現在の同地点(澄川3条2丁目付近)

Shopping Street

### Ranch エドウィン・ダン記念館

現在は住宅や団地が立ち並ぶ真駒内。かつては、“北海道酪農の父”と呼ばれるエドウィン・ダンが開設した牧牛場が広がっていた。その事務所が記念館に。

エドウィン・ダン記念館

Ranch